

《担当者名》 吉田 繁 遠藤輝夫 丸川活司 高橋祐輔 山崎智弘 小野誠司

【概要】

臨床検査技師は様々な検査を行うことから仕事内容に対するイメージが掴みづらい。今後、専門科目を効率よく学ぶためには臨床検査をよく理解しておく必要がある。本講義では、臨床検査技師としての現場経験のある教員を中心に、各種検査の概要と意義を学び、臨床検査の全体像を把握する。また、臨床検査の結果を正しく解釈するうえで大切となる科学的な考え方とそれを他者に正しく伝えるためのレポート作成の方法を学ぶ。

【学修目標】

- 1) 臨床検査に必要な知識と考え方を習得するために、各種臨床検査の内容を理解し、科学的な考え方および文章の書き方を身につける。
- 2) 臨床検査の分野と内容を説明できる。
- 3) 医療現場における臨床検査の意義について説明できる。
- 4) 医療現場における臨床検査技師の役割を説明できる。
- 5) 科学的な考えをもとに結果を解釈することができる。
- 6) 考察とは何かを説明することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	一般検査	<ul style="list-style-type: none"> ・一般検査とは ・医療における一般検査の役割 キーワード：一般検査、尿検査	吉田 繁
2	臨床化学検査、輸血・移植検査	<ul style="list-style-type: none"> ・臨床化学検査とは ・輸血・移植検査とは ・臨床化学検査、輸血・移植検査を行う上での臨床検査技師の役割と責任 キーワード：肝機能検査、腎機能検査、輸血、臓器移植	遠藤輝夫
3	血液学、免疫学検査	<ul style="list-style-type: none"> ・血液学および免疫学的検査の概要 ・実際の医療機関でのこれら検査の役割や重要性 キーワード：血液疾患、血液学的検査、自己免疫疾患、免疫学的検査	高橋祐輔
4	微生物学検査	<ul style="list-style-type: none"> ・病原微生物を取り扱う上で必要な知識 ・細菌検査の概要 キーワード：バイオセーフティレベル、無菌操作、培養と同定、薬剤感受性	山崎智弘
5	病理組織・細胞学的検査	<ul style="list-style-type: none"> ・病理組織・細胞学的検査の概要と実際の現場 ・病理検査室での検査技師の役割 キーワード：組織診断、細胞診断、分子病理診断、標本作製	丸川活司
6	神経生理学検査	<ul style="list-style-type: none"> ・現状での神経評価に必要な多岐にわたる検査の機器と検査の種類 ・それら検査の正常異常の評価、病態など キーワード：神経機能評価、中枢神経、加算平均法、近接電場電位・遠隔電場電位	小野誠司
7	科学的な考え方と文章の書き方1	<ul style="list-style-type: none"> ・科学的な考え方 ・科学的な文章 	吉田 繁

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		・実験結果の見方と考え方 キーワード：主題文、客観的事実、図表	
8	科学的な考え方と文章の書き方2	・実験レポートの構成 ・実験結果の考察 キーワード：レポート構成、ライティング	吉田 繁

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 80% 小テスト20%

【教科書】

その都度プリントを配布する。

【参考書】

浅野嘉延「なるほど なっとく！臨床検査 第1版」南山堂 2021年
福地健太郎 他「理工系のためのよい文章の書き方 第1版」翔泳社 2019年

【備考】

クリッカーを使用し、学生の理解度を把握する。
Google Form を利用して学修課題を提示する。

【学修の準備】

授業に関するキーワードについて調べて予習しておくこと（120分）
講義で用いた資料に関して復習し、要点をまとめる（120分）

【ディプロマポリシーとの関連性】

（DP2）臨床検査に必要な知識と技術を習得し、先進・高度化する医療に対応できる実践能力を身につけている。

【実務経験】

吉田 繁（臨床検査技師）、遠藤輝夫（臨床検査技師）、丸川活司（臨床検査技師）、高橋祐輔（臨床検査技師）、小野誠司（臨床検査技師）

【実務経験を活かした教育内容】

医療機関での実務経験を活かし、各臨床検査の概要と意義について講義する。

【その他】

この科目は主要授業科目に設定している